

バス事故乗客ら5人死亡

北海道 トラックと正面衝突

18日正午頃、北海道八雲町の国道5号で、札幌と函館を結ぶ長距離バス「高速はこだて号」とトラックが正面衝突した。道警によると、双方の男性運転手と、バスの乗客の男女3人の計5人が死亡。乗客12人がけがをした。

発表によると、亡くなったのはバスを運転していた札幌市清田区、興膳孝幸さん(64)、トラック運転手の北海道森町港町、梶谷誠さん(65)、乗客の函館市旭町、地方公務員若崎友哉さん(33)、鹿部町本別、パート従業員清水忍さん(57)、

札幌市清田区、高橋裕美さん(55)。
現場は片側1車線の緩やかなカーブで、道警は事故の状況などから、トラックが対向車線にはみ出したとみて、自動車運転死傷行為処罰法違反(過失運転致死傷)の疑いで調べている。

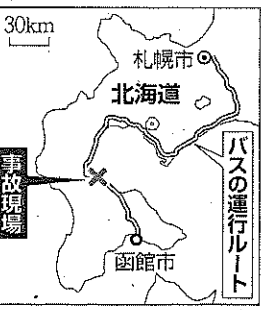
バスを運行する北都交通(札幌市)によると、興膳さんの同社での乗務歴は15年という。バスは午前7時50分にJR札幌駅前を出発。道央自動車道や国道5号を通り、函館市内に向かっていった。事故時は乗客15人がいた。

道警などによると、トラックは豚を運搬中だった。

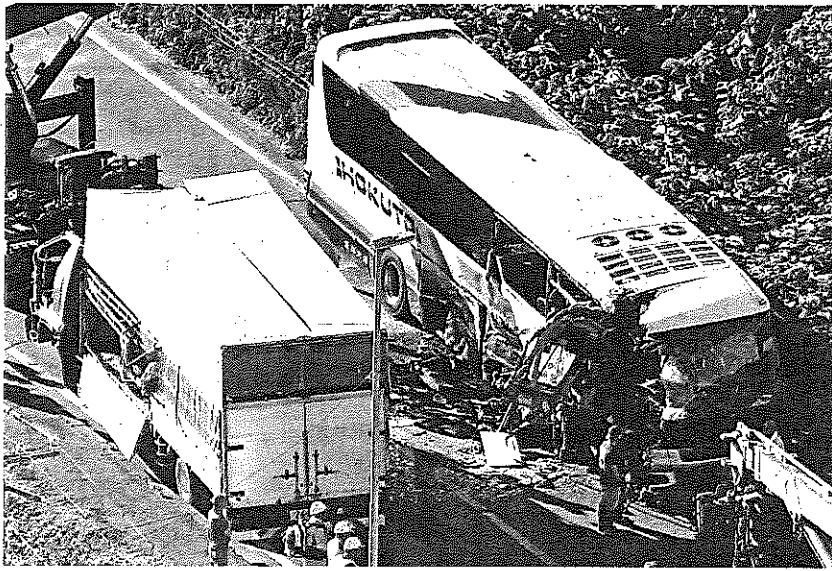
▽関連記事27面▽

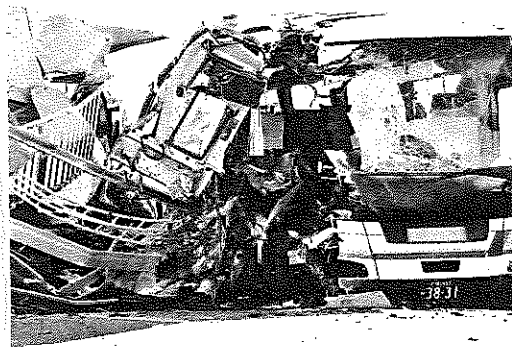
読売新聞オンラインに動画

バスの運行ルート



衝突した長距離バスとトラック(18日午後5時9分、北海道八雲町で、本社機から)＝清水敏明撮影





衝突して大破した長距離バス(右)とトラック(18日午後3時52分、北海道八雲町で)

北海道バス事故

「トラック刺さったよう」 運転席激しく損傷

北海道八雲町の国道で長距離バスとトラックが衝突し、双方の運転手とバスの乗客の計5人が死亡した事故。バスは右前方が大きく潰れ、トラックは運転席が激しく損傷して、衝撃の大きさを物語っていた。

事故は18日正午頃に発生し、救急車や警察車両が次々と到着する中、乗客らが搬送されていた。事故直後に現場を通りかかった函館市の男性会社員(46)は「バスの運転手は問いかげに反応がなかった。こんな悲惨な事故が起き、言葉にならない」と声を震わせた。

近くに住む40歳代男性は、「買い物に行こうとして出かけたら、救急車が立て続けに何台も往来していた。トラックがバスに突き刺さっているようで、トラックの運転席がぐしゃぐしゃに潰れていた」と話した。バスを運行していた北都交通(札幌市)は18日夕、バス事業部のある北広島市で記者会見し、佐藤晃彦・事業部長が「尊い命を失い、重く受け止めている。亡くなった方のご家族に申し訳ない」と話した。同社によると、バスを運

転していた興膳孝幸さん(64)は乗務歴15年で、これまで重大事故のない優良乗務員だった。この日の運行前のアルコールチェックも異常はなかった。矢萩靖巳・バス事業部長は「普段から後乗乗務員に頼られ、信頼が厚かった」と興膳さんの人柄を語った。

一方、トラックは善隆会社「日本クリーンファーム」道南事業所(八雲町)が函館方面から八雲町へ運搬している途中だった。道警によると、隊は30頭いて、事故で多くが道路に投げ出された。同社の担当者は「詳細は回答できないが、乗客1人が死亡、28人が重軽傷を負った」。

長野県軽井沢町の国道では2016年1月、スキーツアーバスが崖下に転落し、乗客の大学生13人と運転手2人の計15人が死亡、26人が重軽傷を負った。昨年8月には、名古屋市の北区の名古屋高速道路で高速バスが横転して炎上。運転手と乗客の計2人が死亡し、7人がけがをした。静岡県小山町の県道でも昨年10月、観光バスが横転して乗客1人が死亡、28人が重軽傷を負った。

バス正面衝突 5人死亡

トラック、車線はみ出し

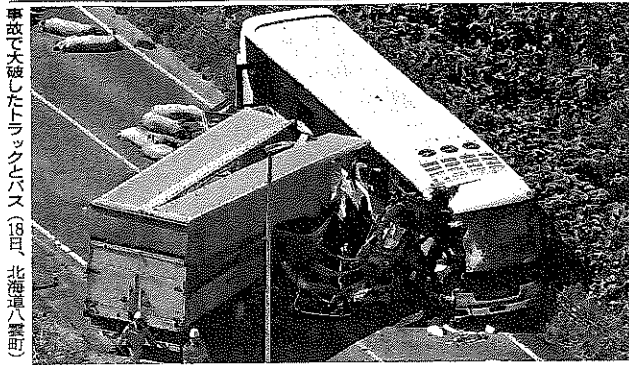
北海道

18日午前11時55分ごろ、北海道八雲町の国道5号で、トラックが札幌市から函館市に向かっていた都市間高速バスと正面衝突した。運転手と乗客の男性1人と女性2人、バスとトラックの男性運転手の計4人が死亡、12人が病院に搬送された。

札幌発・函館行 12人搬送

道警は死亡者の身元確認(64)と公表した。同社によると、乗務員15年、大きな事故を起こし、バスを衝突したとみて詳しい状況を調べている。

バスを運行する北都交通(札幌市)は「大きな重く受け止めている」と述べた。



事故で大破したトラックとバス(18日、北海道八雲町)

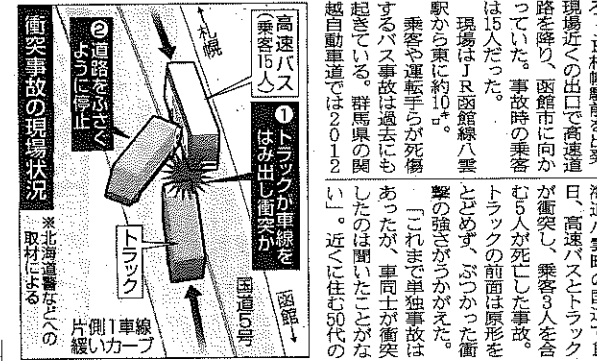


青森県おいらせ町の養豚会社「日本クリンフアーム」の担当者は、同社の所有するトラックが巻き込まれたと明らかにした。運転手は60代の男性で、函館付近から八雲町にある食肉処理場に豚を運んでいた。

バス運転席側面に穴

トラックの右前面は大破し、バスの運転席側面にも穴が開いていた。北海道八雲町の国道5号、高速バスとトラックが衝突し、乗客3人を含む5人が死亡した事故。トラックの前面は原形をとどめず、ぶつかった衝撃の強さがうかがえた。

「これまで単独事故があったが、車同士が衝突したのは聞いたことがない」。近くに住む50代の男性は驚いた様子で話した。現場は片側1車線の緩やかなカーブ区間で、道路は畑が広がり見通しも良かった。



| 近年発生した主なバス事故 | |
|--------------|--|
| 2012年4月 | 群馬県藤岡市の閑越自動車道で、ツアーバスが壁に衝突。乗客7人が死亡、38人重軽傷 |
| 16年1月 | 長野県軽井沢町の国道で、スキー客を乗せたバスが道路脇に転落。大学生ら15人死亡、26人重軽傷 |
| 17年6月 | 愛知県新城市の東名高速道で、乗用車が対向車線の観光バスと衝突。乗用車の男性が死亡、バス乗客らが重軽傷 |
| 22年8月 | 名古屋市の高速道で空港行き的大型バスが横転し炎上。運転手ら2人死亡、7人軽傷 |

せた大型バスが道路脇に転落し、大学生ら15人が死亡、26人が重軽傷を負った。

事故を受け、国土交通省は安全対策を強化してきた。軽井沢町のスキーバス事故後にはドライバーの感傷が大きく減少した観光バス需要が回復するとみられ、安全対策の徹底が求められる。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大で減少した観光バス需要が回復するとみられ、安全対策の徹底が求められる。

トラックは事故後、道路をぶすくように停止したほか、横断していたとみられる豚が複数逃げ出すなどし、国道は一時通行止めとなった。

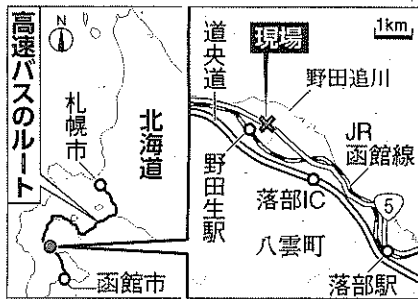


衝突事故を起こしたトラック(左)と都市間高速バス=18日午後4時13分、北海道八雲町、本社機から、岩下毅撮影

バス事故5人死亡

トラックと衝突12人けが

北海道の国道



18日正午ごろ、北海道八雲町野田生の国道5号で、乗客15人が乗った都市間高速バスとトラックが衝突した。道警と消防によると、バスとトラックの運転手、バスの乗客

3人の計5人が死亡し、他の乗客12人もけがをした。道警は、トラックが対向車線にはみ出したとみて自動車運転死傷処罰法違反(過失運転致死傷)容疑で調べている。

▼25面へぐれた車体
道警は、死亡した5人はバス運転手の興膳孝幸さん(64)〓札幌市〓、トラック運転手の梶谷誠さん(65)〓北海道森町〓、バス乗客の若崎友哉さん(33)〓北海道函館市〓、高清水忍さん(57)〓北海道鹿部町〓、高橋裕美さん(55)〓札幌市〓と発表した。

バスを運行する北都交通(本社・札幌市)によると、バスは札幌駅を18日午前7時50分に出発し、函館市に午後1時45分に到着予定だった。

トラックは、食肉大手日本ハムの子会社で、養豚を行う日本クリーンフ

アーム(本社・青森県おいらせ町)のもので、豚30頭を運んでいた。対向車線のバスの運転席側に突っ込んで停車した。



トラックと都市間高速バスが衝突した事故現場—18日午後4時49分、北海道八雲町野田生、阿部浩明撮影

バスえぐられた車体

北海道5人死亡 衝撃、上から荷物

北海道の地域交通網を支える都市間高速バスと、養豚事業者のトラックが衝突し、5人の命が奪われた。バスの車体は大きくえぐられ、路上には破片が散乱。破損したトラックの荷台からは豚がはじき出され、周辺へ逃げ出した。見通しが良い国道で一体、何が起きたのか。▼1面参照

優良表彰 ベテラン運転手

道内の主要都市を結ぶ都市間高速バスは、複数のバス会社が運行している。飛行機やJRの特急列車に比べて割安なことが特徴だ。

空港がなかったり、特急が止まらなかったりする地域に停留所がある路線もある。通勤や帰省、観光に使われ、北海道では重要な交通手段の一つになっている。

事故が起きた路線は札幌と函館を結ぶ「高速はこだて号」で、バス会社4社が共同で1日往復7便を運行する。今回のバスは「北都交通」（本社・札幌市中央区）が運行し、同社は同路線の2便を受け持っていた。

同社によると、亡くなった運転手の興膳孝幸さん(64)は勤続15年のベテランで、重大事故を起こしたことはなかった。少なくとも3年以上無事故で、社内の「優良乗務員」の表彰を受けていた。興膳さんの健康状態、運行前の呼吸検査や車両点検に問題はなかったという。

同社の責任者は「対向のトラックが中央線を越えてきてバスの右側面に衝突した、と把握している」との認識を示しつつ、「事故を大変重く受け止め、亡くなった方やご家族に大変申し訳なく思っている」と述べた。

興膳さんについては「後輩の面倒見がよく、信頼を置いていた。孫の話も非常に柔らかい表情でしていた。事故は残念で寂しい」と語った。

■バスが絡んだ過去の主な事故

2000年2月 北海道弟子屈町で観光バス3台と除雪車2台が衝突。バスの運転手1人が死亡、約100人が重軽傷

07年2月 大阪府吹田市でスキー客を乗せた大型バスがモノレールの橋脚に衝突。アルバイト乗客1人死亡、26人が重軽傷

12年4月 群馬県藤岡市の関越道で、高速ツアーバスが道路脇の防音壁に衝突。7人が死亡、39人が重軽傷

16年1月 長野県軽井沢町の国道18号で、スキー客を乗せたバスが道路脇の崖下に転落。大学生ら15人死亡、26人が重軽傷

17年6月 愛知県新城市の東名高速で、乗用車が中央分離帯を越えて観光バスに衝突。乗用車の運転手1人死亡、45人けが

22年8月 名古屋市の高速道路で大型バスが横転して炎上。2人が死亡、7人が負傷

22年10月 静岡県小山町の県道で観光バス横転。1人死亡、28人負傷

23年5月 宮城県栗原市の東北道で、停車中のバスに大型トラックが追突。留学生ら3人が死亡

北海道八雲町の国道で事故に遭ったバスの前から2列目の座席に乗っていた札幌市の女性(79)は、うとうと眠っていたところ、「ガガガッ」というものすごい音と衝撃で起こされた。荷物やガラス状のものが上からたくさん落ち、足もとには運転手が倒れ込んできた。「とにかく驚いて、怖かった」と振り返った。女性は衝撃で額をぶつけて打撲傷を負い、病院で手当てを受けた。

バスを運行する北都交通によると、病院に運ばれた乗客は大型タクシーに乗り換えて札幌や函館方面に向かったが、なかには「もう車には恐ろしくて乗りたくない」と、列車で帰った人もいたという。

北海道函館市の会社員の男性(46)は、渋滞に巻き込まれて現場を見に行く、前部が大破したバスが目に入った。運転手は頭を入り口の方に向けて倒れていた。救急隊員と警察官が「大丈夫か、わかるか」と何度も声をかけていたが、反応はなかったという。

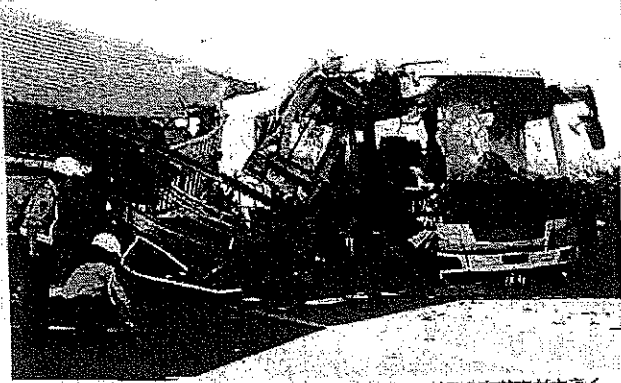
男性によると、トラックの近くには荷台から落ちた豚が10頭ほどいた。そのうち5、6頭は血を流して倒れていた。近くの中学校のグラウンドにはドクターヘリが飛んできて、重傷とみられる乗客を搬送していった。バスの周辺には10人ほどが車道にしがみ込み、お互いに背中をさするなどして、励まし合っていたという。

事故があった国道5号は札幌と函館を結ぶ幹線道路で、景観の美しさで知られる内浦湾(噴火湾)沿い。現場は片側1車線の緩やかなカーブで見通しも良いが、地元住民によると、スピードが出やすく、昔から事故が頻発しているという。

衝突のトラック 日本ハム子会社

バスと衝突したのは、養豚を行う日本クリーンファームのトラック。親会社の日本ハムによると、トラック運転手は65歳で、八雲町内の食肉処理場に豚を運ぶ途中だったという。ホームページなどによると国内最大規模の養豚事業者で、北海道、青森県、宮崎県に4事業所を持ち、年間約62万頭の豚を出荷。日本ハムは「心よりお悔やみ申し上げる。捜査には全力を尽くす」とした。

突然の衝撃「何が」



都市間高速バスとトラックが衝突した事故現場。バスの右前方が大きくえぐれていた。18日午後3時20分

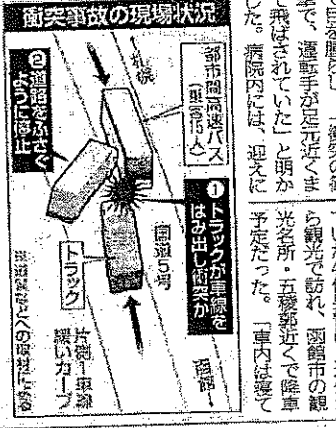
八雲事故5人死亡

バス大破 叫ぶ乗客 ガラス破片 荷物散乱

【八雲】高速バスの運転席付近は大破して、乗客を巻き込んだ。乗客は、車内を飛び出し、トラックと衝突した。乗客の大声が飛び交った。現場には携帯電話や靴が散乱し、トラックが翻転した。事故の原因は、バスとトラックの衝突によるものと見られる。乗客は、衝突の瞬間に、バスが急ブレーキをかけたことに気づいた。乗客は、車内を飛び出し、トラックと衝突した。乗客の大声が飛び交った。現場には携帯電話や靴が散乱し、トラックが翻転した。事故の原因は、バスとトラックの衝突によるものと見られる。

死者や多数のけが人が出た 道内での主なバス事故

| | |
|---------|---|
| 2010年8月 | 小樽市の朝里トンネル内で、トラックと大型観光バスが衝突。トラックの運転手が死亡、トラックとバスの計7人が重傷。 |
| 14年10月 | 渡島管内七飯町の国道で、大型観光バスとトラックが正面衝突。双方の運転手が死亡、バスの乗客乗員18人が軽傷。 |
| 17年8月 | 千歳管内浦幌町の国道で、大型観光バスが路外に転落。横転。乗客乗員43人が重傷。 |
| 17年10月 | 宮小牧市の市道交差点で、乗用車と路線バスが衝突。バスの乗客11人が軽傷。 |
| 19年1月 | 上川管内占冠町の国道で、ワゴン車と都市間バスが正面衝突。ワゴン車の運転手が死亡、バスの乗客乗員6人の計7人が軽傷。 |



死者や多数のけが人が出た 道内での主なバス事故 (continued)

事故前の16日、17日の2日間、休みを取っていた。既婚者で、子供が2人いる。乗務員としての経験は、約10年。乗務員としての経験は、約10年。乗務員としての経験は、約10年。

事故に巻き込まれたバスを運転していたのは、札幌市東区にある、勤続15年のベテランドライバーだった。北海道は、18日、北広島市の国道で、バスとトラックの衝突事故が発生した。事故の原因は、バスとトラックの衝突によるものと見られる。

勤続15年のベテラン

事故に巻き込まれたバスを運転していたのは、札幌市東区にある、勤続15年のベテランドライバーだった。北海道は、18日、北広島市の国道で、バスとトラックの衝突事故が発生した。事故の原因は、バスとトラックの衝突によるものと見られる。

乗客は、衝突の瞬間に、バスが急ブレーキをかけたことに気づいた。乗客は、車内を飛び出し、トラックと衝突した。乗客の大声が飛び交った。現場には携帯電話や靴が散乱し、トラックが翻転した。事故の原因は、バスとトラックの衝突によるものと見られる。

乗客は、衝突の瞬間に、バスが急ブレーキをかけたことに気づいた。乗客は、車内を飛び出し、トラックと衝突した。乗客の大声が飛び交った。現場には携帯電話や靴が散乱し、トラックが翻転した。事故の原因は、バスとトラックの衝突によるものと見られる。